

# 国立女性教育会館 2007

*Guide to the National Women's Education Center of Japan*

## 又エック概要

### NWEC



独立行政法人  
国立女性教育会館

# 男女共同参画社会実現のための 学びの拠点 — NWEC

独立行政法人国立女性教育会館（National Women's Education Center = NWEC）は、男女共同参画社会の形成をめざして、国内外の女性関連施設や機関との連携を図りつつ、女性教育指導者や関係者に対する研修、女性団体・家庭教育支援団体等の交流機会の提供、女性教育・家庭教育に関する専門的な調査研究及び女性と家族に関する情報収集・提供の充実を図り、女性教育に関するナショナルセンターとしての役割を果たしております。

平成19年度は女性アーカイブの構築、男女共同参画推進の視点にたった学習プログラムの開発等に重点をおいて活動いたします。また、11月には開館30周年を迎え、記念式典を予定しています。30年という節目を機に、これまでの積み上げの上に、さらに男女共同参画社会形成を推進する学習の拠点としての役割を果たすべく、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

快適な利用環境の充実を図るための施設・設備も計画的に行ってまいります。

皆様のご利用とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 神田 道子



目 的	3
沿 革	4
事 業	5
平成19年度事業	5
女性教育情報センター	6
刊行物等	8
利用状況	10
トピックス	12
施 設	15
利用案内	18
国立女性教育会館ボランティア	19
運営委員会委員、外部評価委員会委員	20
組織図	21
施設配置	22



シンボルマーク

「両手を空に掲げ、希望に燃える女性像をデザイン化」したものです。

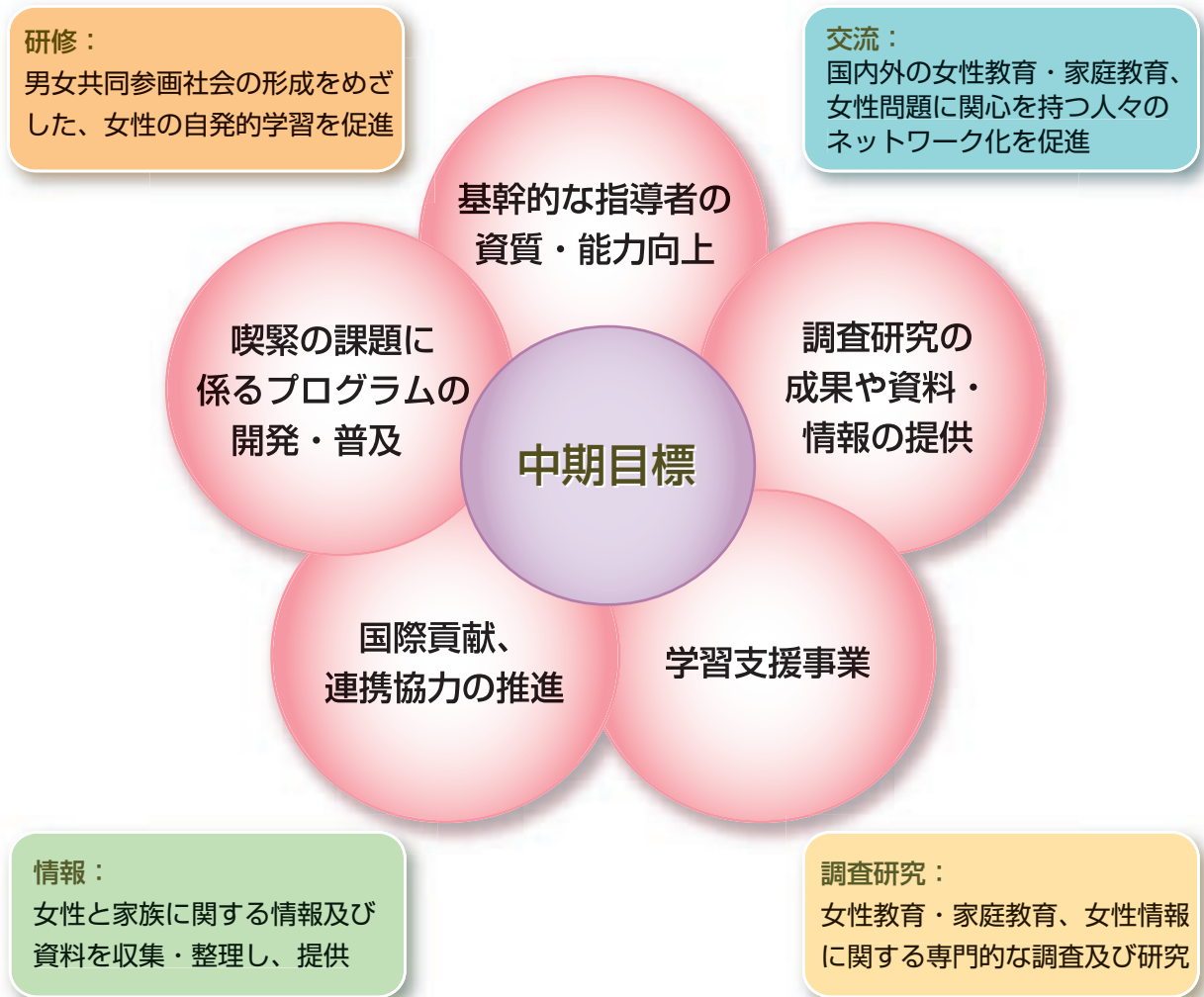
愛称「ヌエック」

「ヌエック」は英語名称 National Women's Education Center の頭文字 NWEC を読んだものです。

# 目的

独立行政法人国立女性教育会館は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、男女共同参画社会の形成に資することを目的としており、文部科学大臣より中期目標が示されています。

会館は、その目的を達成するために次の機能を活用して各事業を実施しています。







# 沿革

## 「国立婦人教育会館」から「独立行政法人国立女性教育会館」へ

昭和46年	7月	婦人教育会館調査研究協力者会議発足
昭和52年	7月	文部省の附属機関として国立婦人教育会館が設置される（庶務課（平成14年4月から「総務課」と改称）、事業課）
	10月	受け入れ事業開始
	11月	開館式
	12月	研修事業（全国婦人団体研究集会）開始
昭和53年	3月	「会館だより」（昭和60年8月から「国立婦人教育会館ニュース」、平成9年4月から「ヌエックニュース」に誌名変更）創刊
	4月	情報交流課設置（平成14年11月から「情報課」に組織変更）
	8月	国立婦人教育会館ボランティア登録開始
	9月	調査研究事業（婦人教育研究セミナー）開始
	12月	体育館・屋内プール完成
昭和54年	3月	日本家屋（響書院）・茶室（和庵）完成
	9月	婦人教育国内研修受け入れ事業開始
	10月	「婦人教育情報」創刊（平成9年3月終刊）
	11月	情報図書室開室（昭和62年11月から「婦人教育情報センター」、平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称）
昭和57年	11月	開館5周年記念事業開催
昭和59年	11月	「NWEC Newsletter」創刊
昭和60年	5月	情報協力者会議「婦人教育情報センター基本構想」を報告
昭和62年	5月	利用者100万人を超える
	11月	開館10周年記念事業開催、婦人教育情報センター開所（平成13年1月から女性教育情報センター」と改称）
平成3年	7月	オンライン情報検索サービス開始（平成11年1月からホームページを通してWINETデータベースを公開）
平成5年	4月	事業課に研究員配置、科学研究費補助金取扱規程が規定する「研究機関」となる
平成6年	3月	パソコン通信システム「WINET-BBS」導入
	4月	国立婦人教育会館将来構想検討委員会「国立婦人教育会館の将来について」を報告
平成7年	10月	「国立婦人教育会館研究紀要」創刊（平成17年11月から「国立女性教育会館研究ジャーナル」に誌名変更）
	12月	ホームページをインターネットで公開
平成8年	11月	利用者200万人を超える
平成9年	1月	愛称を「ヌエック」に決定
	5月	公開シンポジウム開催（以後、毎年開催）
	11月	開館20周年記念事業開催、シンボルマーク決定
平成10年	3月	「WINET情報」創刊（平成14年3月終刊）
平成11年	1月	ホームページからWINETデータベース、研修室・宿泊室予約状況等を公開
平成12年	3月	ヌエック女性情報ニューシステム（ウィネットキャス＝WinetCASS）公開
平成13年	1月	名称を「国立女性教育会館」と改称
	4月	「独立行政法人国立女性教育会館」設立
	5月	TICT（ティクト, Training of ICT）サイト公開（平成15年度にて終了）
	7月	「独立行政法人国立女性教育会館運営委員会」設置（8月第1回委員会開催）
平成14年	11月	研究国際室設置
平成16年	2月	「女性関連施設相談担当者実務研修」開始
	7月	「キャリア形成支援推進セミナー」開始
平成18年	1月	女子栄養大学と連携協定を締結
	2月	日本女子体育大学と連携協定を締結
	4月	女性情報ポータル“Winet（ウィネット）”公開
	4月	韓国両性平等教育振興院と交流・協力協定を締結
	6月	利用者300万人を超える
	9月	韓国女性開発院と研究交流・協力協定を締結



# 事業

国立女性教育会館が主催する事業と女性教育、家庭教育、女性学、女性情報、その他女性に関する研修・交流・調査研究・情報収集を計画する団体・グループ・個人が自主的に作成したプログラムによる事業があります。

希望により会館利用プログラムについての相談や、女性、家庭・家族に関する最新の情報提供を行っています。

## 平成 19 年度事業

国立女性教育会館は女性教育のナショナルセンターとしての役割を果たすため、男女共同参画社会基本法及び同法に基づく男女共同参画基本計画を踏まえ、内外の関係機関・団体等とのネットワークの拡大を図り、ヌエックが真に担うべき事業に重点化し、その成果の普及・活用を図ります。

### ■ 国立女性教育会館開館 30 周年記念事業

- ・国立女性教育会館・開館 30 周年記念式典（11 月 20 日）
- ・女性のエンパワーメント国際フォーラム（11 月）
- ・国立女性教育会館開館 30 周年記念誌（11 月発行）

### ■ 基幹的な女性教育指導者等の資質・能力の向上

●地方公共団体等の基幹的指導者に対する男女共同参画及び女性教育を進めていく際に必要な総合的な知識等に関する研修及び調査研究を実施します。また、調査研究の成果を基に、基幹的指導者の資質・能力向上を目的とする学習プログラムや参考資料を作成します。

- ・女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修（6 月）
- ・女性関連施設に関する調査研究（3 年計画の 2 年次）

### ■ 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発・普及

●ナショナルセンターとして先駆的に喫緊の課題に関する調査研究を実施し、成果をもとにした学習プログラム・参考資料の開発・普及を図ります。

- ・女性のキャリア形成支援のためのプログラムに関する調査研究（2 年計画の 2 年次）
- ・家庭教育・次世代育成支援のためのプログラムに関する調査研究（2 年計画の 2 年次）
- ・家庭教育・次世代育成支援指導者研修
  - 【会館研修】「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」（5 月）
  - 【地域研修】「家庭教育・次世代育成地域協働フォーラム」（10 月～12 月）
- ・女性のキャリア形成支援推進研修（10 月）
- ・配偶者からの暴力等に関する相談員研修（7 月）
- ・男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム（8 月）

## ■ 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する調査研究の成果や資料・情報の提供等

●全国の女性関連施設等の有する女性教育に関するプログラムなどの地域レベルでは収集困難な広域的・専門的な国内外の資料・情報の収集、提供に重点化を図り、利用しやすいポータルとデータベースの構築を図ります。

- ・女性情報ポータルの整備充実
- ・男女共同参画に関する統計の調査研究（3年計画の2年次）
- ・女性アーカイブの構築
- ・女性及び家族に関する情報資料の収集・整理・提供
- ・レファレンス・サービス及び文献複写サービス
- ・女性及び家族に関する図書資料の展示

## ■ 男女共同参画及び女性教育に関する国際貢献、連携協力の推進

●国際協力・連携に資する女性のエンパワーメント支援のために、開発途上国、特に国連アジア太平洋経済社会委員会（E S C A P）加盟国の女性教育行政担当者及びN G O等関係団体の指導者に対する男女共同参画及び女性教育に関する参加型の実践的な研修を実施します。

- ・アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー（20年1月）
- ・女性の教育推進セミナーⅡ（20年1月～2月）
- ・国別研修（カンボジア）（5月～6月）
- ・女性のエンパワーメント国際フォーラム（11月）【開館30周年記念事業】
- ・人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究（2年計画の1年次）

## 女性教育情報センター

女性教育情報センターは、女性及び家族に関する分野の学習・調査・研究に資するため内外の資料・情報を収集・整理し、提供するとともに、各種データベースを作成し、Web上で公開しています。（<http://www.nwec.jp/jp/center/>）

## ■ 収集資料（平成19年3月末現在）

項 目		和		洋		計	
		18年度受入	累 計	18年度受入	累 計	18年度受入	累 計
図 書 資 料	図 書	2,658 除籍△1,579	64,768	1,092 除籍△51	20,603	3,750 除籍△1,630	85,371
	地方行政資料	691	22,939	0	8	691	22,947
	計（冊数）	3,349 除籍△1,579	87,707	1,092 除籍△51	20,611	4,441 除籍△1,630	108,318
逐次刊行物	雑誌（タイトル数）	126	2,772	17	627(52か国)	143	3,399
	新 聞	0	74	0	1	0	75
そ の 他	新聞切り抜	26,030	224,081	—	—	26,030	224,081
	ビデオフィルム	0	172	0	3	0	175
	研修貸出用資料	1	32	0	0	1	32

※除籍：資料の重点化を図った結果、重複資料や内容の古くなった資料を除籍

## ■ 情報サービス

- 閲覧**：情報センター内で自由に閲覧できます。研究者用に閲覧用個室（2室）もあります。
- 貸出**：会館内貸出及び女性センター・図書館等を通した館外貸出を行っています。
- レファレンスサービス**：利用者の学習・調査・研究を援助するために、当センター所蔵の資料や各種データベースを活用してさまざまな質問に答えています。直接来館の他、電話や文書、Eメールでも受け付けています。
- 文献複写サービス**：所蔵資料について、文献複写サービスを行っています。直接来館の他、電話やインターネット・文書による申込みも受け付けています。

## ■ 女性情報ポータル “Winet”（ウィネット）（<http://winet.nwec.jp>）

女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の窓口です。“Winet”は下記3つの要素で構成されています。

### ● 女性情報ナビゲーション

リンク集。インターネット上の有用な資源への道案内。

### ● 国立女性教育会館作成のデータベース（別表参照）

### ● 女性情報CASS

会館作成のデータベース及び他の関係機関のデータベースの横断検索。

## ■ 国立女性教育会館作成データベース（件数は平成19年3月現在）

(女性教育情報センター所蔵資料のデータベース)	図 書 (66,520件)	一般出版社が刊行した図書、中央省庁の調査・報告書、企業の調査資料、女性団体・グループが刊行した資料等について、書名、著者名、発行者、ページ数、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード、分類を主なデータとして登録しています。
	雑 誌 (3,399件)	一般出版社が刊行した逐次刊行物、大学・研究所等の紀要類、地方自治体発行の女性広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ、ニューズレター等について、誌名、発行者、所蔵年、所蔵巻号を主なデータとして登録しています。
	地方行政資料 (19,780件)	都道府県・市区町村の教育委員会、男女共同参画担当課（室）など地方自治体が刊行した資料について、書名、著者名、発行者、ページ数、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード、分類を主なデータとして登録しています。
	和 雑 誌 記 事 (51,189件)	女性教育情報センター所蔵の逐次刊行物の中から、女性・家族に関する記事・論文を選択し、記事見出し、著者名、雑誌名、巻号、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等を主なデータとして登録しています。
	新 聞 記 事 インデックス (224,081件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和52年10月～昭和63年度：全国紙・地方紙約60紙に掲載された、話題となった女性（人材）に関する記事について、記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。</li> <li>平成元年度以降：全国紙・地方紙約50紙に掲載された女性・家族全般に関する記事について、記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。</li> </ul>
女性関連施設データベース (概要594件／事業9,134件 情報事業331件 相談事業300件)	全国の公私立女性/男女共同参画センター・働く婦人の家・農村婦人の家等女性関連施設の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について、2001年度以降毎年の調査結果をデータベース化したものです。施設の名称、設置者、住所、設立年、設置目的、事業のねらい、プログラム、講師名、図書室等の面積、情報提供の種類、相談室の数、相談事業・特別相談事業の概要等を主なデータ項目としています。	
女性学・ジェンダー論 関連科目データベース (1,002大学、19,651科目)	大学、短大等の高等教育機関における女性学・ジェンダー論関連科目について、2000年度以降毎年の調査結果をデータベース化したものです。開講大学名、科目名、科目内容、開講場所、担当教員名、一般公開・非公開、対象課程等の学務関係の内容を主なデータ項目としています。	
女性と男性に関する 統計データベース (551件)	女性及び男性の状況を把握する上で重要な日本の統計をあらゆる分野にわたって取り上げ、データベース化したものです。数値を示す統計表をエクセルで収録し、注記や出典となった調査名や資料名も参照できるようになっています。	
男女共同参画人材 情報データベース (436件)	男女共同参画社会推進のための事業企画、また施策の実施に際して参考としていただくため、人材の情報提供を目的としたデータベースです。国立女性教育会館の各種事業にご協力いただいた講師、委員等の方々の情報について、ご承諾を得られた方の、了承いただいた項目のみ公開しています。	



## ■ 女性情報シソーラス

女性に関する情報を効率よく検索するための用語集で、Winetの各データベースへ組込まれています。五十音順リストとカテゴリー一覧、また用語やカテゴリーから検索できる用語データベースも提供しています。

## ■ 女性情報レファレンス事例集 (151件)

女性関連施設でよくある情報相談(レファレンス)を、Q&Aの形式でまとめた事例集です。ジャンル別やキーワードによる検索も可能で、女性情報のビギナーにも使いやすくなっています。

## ■ 女性のキャリア形成支援サイト

女性が様々な新しい分野へチャレンジし、生涯にわたり、主体的に選択しながらキャリアを形成していくため、多様な事例(ロールモデル)、キャリア形成のための学習支援情報、関連情報を提供しています。

## ■ 情報研修プログラムの提供

利用者の希望に応じて、資料・情報の検索・利用方法等の実技研修を随時行っています。

## ■ 展示の実施

蔵書の紹介を目的に年4回のテーマ展示を行っています。今年度の展示テーマは、次のとおりです。

- 4月～6月「リーダーへのチャレンジ」
- 7月～9月「科学技術分野のキャリアを目指そう！」
- 10月～12月「女性関連施設のこれまで、これから」
- 1月～3月「NPOで活躍する女性たち」

## 刊行物等

	資料名	内容	発行
定期 刊行 物	国立女性教育会館研究ジャーナル	ジェンダーの視点に立った生涯学習に関する国際的、学際的、実践的研究論文を公募して掲載する。会館の調査研究を国内外に発表するとともに公募論文を選考して掲載する。(有料頒布)	年1回
	又エック News	会館の事業及び関連情報の紹介・広報。	年4回
	NWEC Newsletter	NWECの活動及び最新の日本女性の現状について英文で海外に紹介する。	年2回
	国立女性教育会館(又エック)主催事業実施報告書	各年度に実施した研修・交流・調査研究・情報事業の実施概要。	年1回
報	女性情報シソーラス	女性に関する情報を効率よく検索するための用語集(シソーラス)。	平成14年度
	又エック ミニ統計集 日本の女性と男性	日本社会の重要な分野での女性と男性の状況を示した日本初のハンディタイプのリーフレット。	平成14年度
告	女性のエンパワーメントのための生涯学習拡充策に関する調査研究報告書	日韓両国で生涯学習関連機関で学ぶ女性の学習活動の事態及び学習要求を明らかにし、データを比較分析することにより、女性のエンパワーメントを促進するための方策をまとめた報告書。	平成14年度
	男女共同参画統計データブック2003 日本の女性と男性	社会全体の中の女性と男性の状況を把握するためのデータ集。人口、家族と世帯、労働、教育など12分野にわたる。(有料頒布)	平成15年度
書	次世代育成と公民館 —これからの家庭教育・子育て支援をすすめるために—	現代の家庭教育・子育てをとりまく状況、子育てサークル・ネットワークの実態と課題を明らかにした公民館が家庭教育・子育て支援を考えるためのブックレット。(有料頒布)(又エック・ブックレット2)	平成15年度
	生涯学習をいかした女性のキャリア形成事例集	「女性の多様な生涯学習の調査研究」の成果として作成した報告書。キャリア形成に生涯学習をいかした20人の女性の事例集。	平成15年度
等	女性のキャリア形成支援に関する調査研究報告書	「女性のキャリア形成支援に関する調査研究」の初年度の成果をまとめた報告書。20人の女性のインタビューをもとに、女性のキャリア形成と生涯学習のあり方について分析。	平成15年度



資料名	内容	発行
女性の生涯学習に関する日韓比較研究報告書－女性のエンパワーメントと「学び」－	日本と韓国における女性の生涯学習の実態について、男女共同参画推進の視点からの比較、説明することを目的に調査研究を行い、「日本型中高年女性学習者モデル」および「韓国型子育て期女性学習者モデル」を提示し、両国の女性政策・生涯学習政策と関連づけて分析（科学研究費補助金報告書）。	平成15年度
女性の生涯学習とエンパワーメント～日本・韓国・ノルウェー・アメリカの4ヶ国比較調査から～	韓国、ノルウェー、アメリカのカウンターパートとの共同研究によって行った「女性と学習関心と学習行動に関する国際調査」の成果をまとめた報告書。	平成16年度
女性の生涯学習とエンパワーメント～日本・韓国・ノルウェー・アメリカの4ヶ国比較調査から～（概要編）	上記報告書の配布用概要版。	平成16年度
Women's Lifelong Learning and Empowerment-Results of Comparative Research on Four Countries, Japan, Korea, Norway, USA-	韓国、ノルウェー、アメリカのカウンターパートとの共同研究によって行った「女性と学習関心と学習行動に関する国際調査」の成果をまとめた報告書の英語版。	平成16年度
キャリア形成に生涯学習をいかした女性たち（改訂版）	生涯学習をキャリア形成にうまく結びつけている20人の女性のインタビューをまとめた事例集。女性たち自身の手記を新たに追加、改訂版として発行。（有料頒布）（ヌエック・ブックレット3）	平成17年度
キャリア形成にNPO活動をいかした女性たち	さまざまな分野のNPO団体で活躍している21人の女性のインタビューをまとめた事例集。（有料頒布）（ヌエック・ブックレット4）	平成17年度
女性のキャリア形成とNPO活動に関する調査研究報告書	「女性のキャリア形成にNPO活動をいかした女性たち」（ヌエック・ブックレット4）の成果をもとに、女性のキャリア形成とNPO活動との関係について分析。	平成17年度
キャリアを拓く女性研究者のあゆみ	研究領域への女性の進出という点から行った調査研究の成果としてのロールモデル集。（有料頒布）	平成17年度
生涯学習の活用と女性のキャリア形成に関する調査研究報告書	会館と地方の女性関連施設との連携のもと、収集したロールモデルを活用し実施したキャリア支援プログラムの分析。	平成17年度
男女共同参画統計データブック2006 日本の女性と男性	社会全体の中の女性と男性の状況を把握するためのデータ集。人口、家族と世帯、労働、教育など12分野にわたる。「男女共同参画統計データブック 2003」に都道府県別データを加えた改訂版。（有料頒布）	平成17年度
平成16年度・17年度家庭教育に関する国際比較調査報告書	日本、韓国、タイ、アメリカ、フランス、スウェーデンの親を対象に調査を実施し、社会・経済状況・そして文化の異なる6カ国を比較することにより、日本の家族・家庭教育の特徴と課題を明らかにした。	平成17年度
人身取引問題に関する国際シンポジウム報告書	人身取引問題について、女性のエンパワーメント拠点とその国際ネットワーク構築に向けてをテーマに、国連大学で行われたシンポジウムの抄録（日本語、一部英文サマリーあり）	平成17年度
女性アーカイブセンター機能に関する調査研究報告－女性の歴史を今に生かし、未来へつなぐ－	女性関係資料の全国所蔵調査を実施し、女性アーカイブに求められる機能と、資料の収集・整理・提供方法を明らかにした。	平成18年度
夢をかたちにした女性たち 将来のキャリアを考えたいあなたへ	会社員や起業家、理工系研究員など、さまざまな分野で働く20代～40代の女性15名へのインタビューをまとめたロールモデル集。女性のキャリア形成・キャリア教育の教材として作成。（ヌエック・ブックレット5）（有料頒布）	平成18年度
人身取引とその防止・教育・啓発に関する調査研究（資料編1）	日本国内の人身取引に対する「需要」のありようとそれを下支えする社会意識について、平成18年度に行った国内大規模質問紙調査のデータ結果をまとめた資料。	平成18年度
独立行政法人国立女性教育会館・韓国両性平等振興院交流・協力協定締結記念シンポジウム報告書について	平成18年度に韓国両性平等振興院と交流・協力協定を締結した記念に行われたシンポジウムの抄録。韓国や日本で行われている男女共同参画に関する研修についての情報やリーダー像についてのパネルディスカッションを含む。	平成18年度

※ 定期刊行物等の閲覧について／定期刊行物である国立女性教育会館研究ジャーナル、ヌエックNews、NWECC Newsletterは、NWECCのホームページ（URL:<http://www.nwec.jp/>）でどなたでも閲覧できます。報告書等については、国立女性教育会館までお問い合わせください。

会館の利用状況は、主催事業・受入事業を合わせて、次のとおりです。

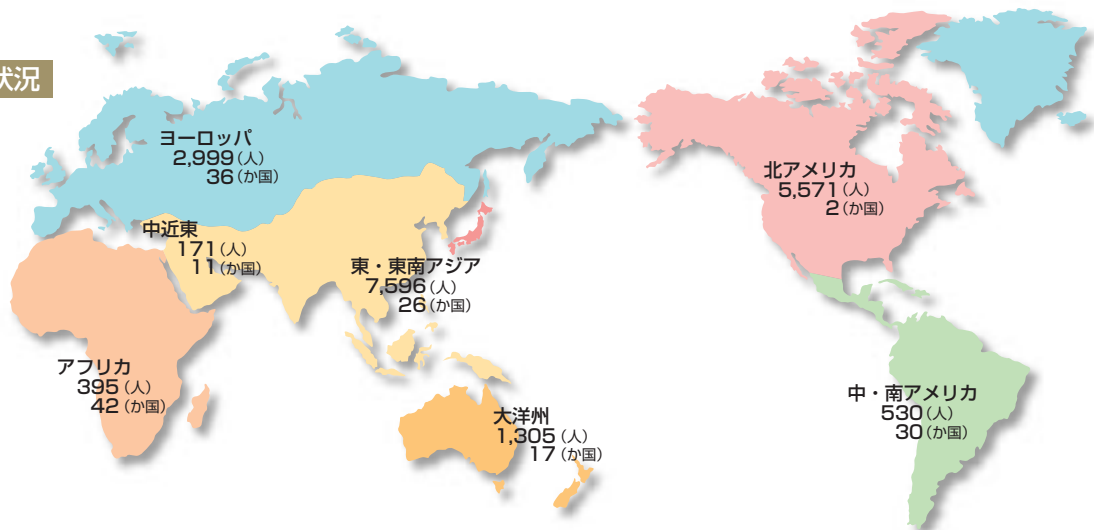
## ■ 年度別利用状況（昭和52年度～平成18年度）

年 度	平成16年度			平成17年度			平成18年度			累計（昭和52年～）		
	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計
利用団体数	1,142	1,731	2,873	1,069	1,802	2,871	1,161	2,191	3,352	30,430	26,017	56,447
実利用者数（人）	34,702	44,486	79,188	36,358	56,277	92,635	37,540	67,516	105,056	1,079,179	777,260	1,856,439
延利用者数（人）	72,322	44,486	116,808	73,188	56,277	129,465	76,161	67,516	143,677	2,335,929	777,260	3,113,189
1日当たりの利用者数（人）	216	132	348	219	168	387	227	202	429	240	80	320
開館日数（日）			335			334			335			9,739

## ■ 外国人の利用状況

国際会議、国際交流、見学等を目的とする外国人の利用状況は、開館以来平成19年3月末で、164か国から、18,567人となっています。

### 地域別来館状況



## ■ 女性教育情報センター利用状況（昭和54年度～平成18年度）

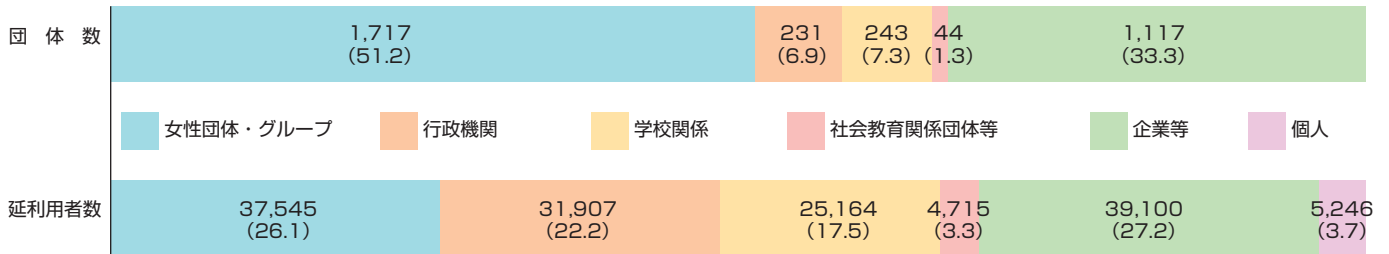
事項	年度	昭和54～平成17年度	平成18年度	累 計
資料等利用者総数（人）		—	6,997	6,997
貸出数	図書（冊）	54,021	1,586	55,607
	雑誌（冊）	25,667	996	26,663
	研修用貸出資料（冊）	34,155	1,600	35,755
レファレンスサービス（件数）		29,474	1,239	30,713
文献複写サービス（件数）		5,682	1,911	7,593
館外貸出サービス（件数）		1,052	220	1,272
情報研修プログラム（件数）		318	17	335
情報研修プログラム（人数）		8,029	182	8,211
開室日数（日）		8,645	335	8,980

※資料等利用者総数（人）は平成18年度より集計  
レファレンスサービス 昭和56年度開始  
文献複写サービス 昭和56年度開始  
館外貸出サービス（機関のみ）平成4年度開始

## ■ 利用内訳 (平成18年度)

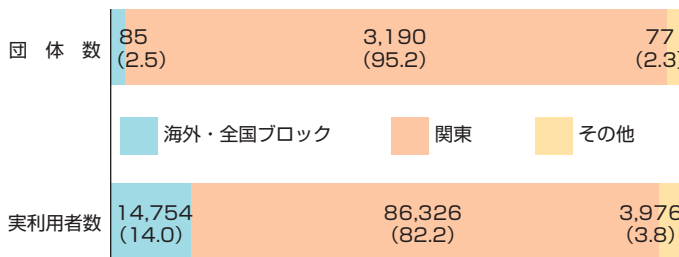
### 主催者別

単位：上段/実数(人) 下段/割合(%)



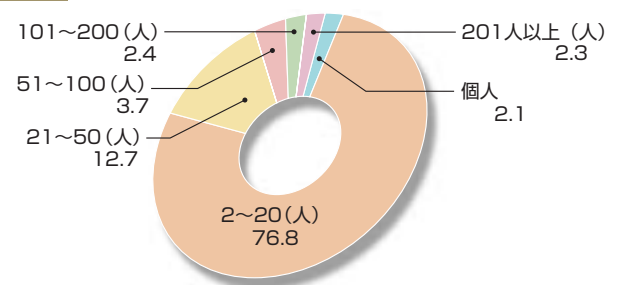
### 地域別

単位：上段/実数 下段/割合



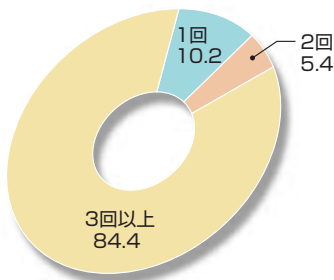
### 規模別

単位：%



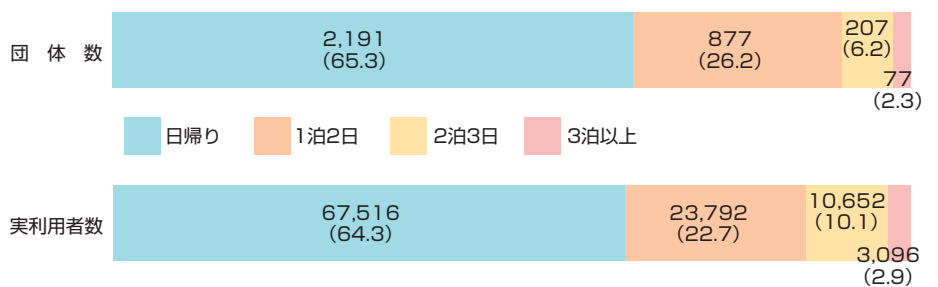
### 回数別

単位：%



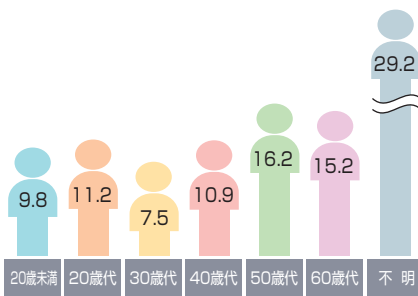
### 日数別

単位：上段/実数(人) 下段/割合(%)



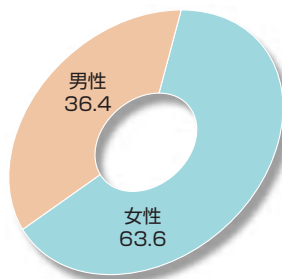
### 年齢別

単位：%



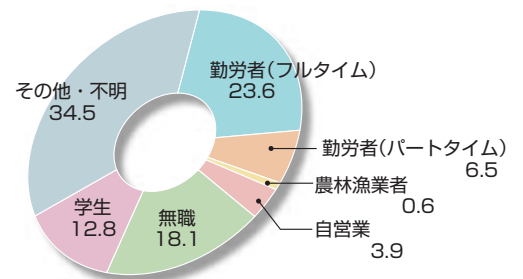
### 男女別

単位：%



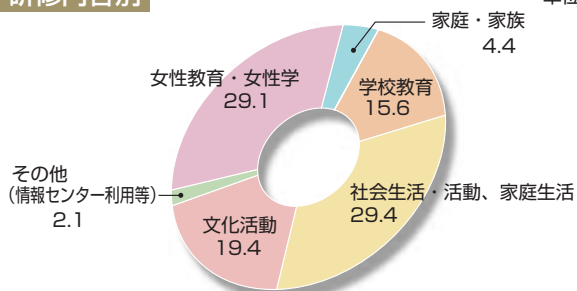
### 職業別

単位：%



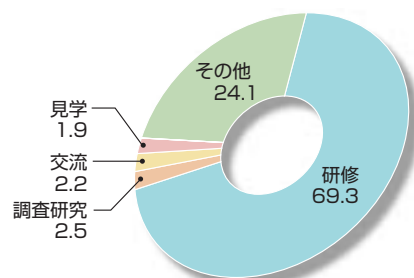
### 研修内容別

単位：%



### 研修方法別

単位：%



平成18年

	時期	項目
	4月	<p><b>「女性情報ポータル “Winet (Women's information network, ウィネット)”」 公開</b></p> <p>平成18年4月、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会の形成を目指した情報の総合窓口として「女性情報ポータル “Winet”」を公開しました。“Winet”は以下3つの要素で構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性情報ナビゲーション（リンク集。インターネット上の有用な資源への道案内）</li> <li>・国立女性教育会館作成のデータベース</li> <li>・女性情報CASS（Cross Access Search System。会館作成のデータベース、及び他の関連機関のデータベースの横断検索）</li> </ul> <p>女性情報ナビゲーションは、インターネット上の有用な資源に道案内するもので、15の分野の下、現在800以上のサイト・ページにリンクしています。例えば「社会問題・社会活動」は、「少子化／次世代育成、高齢社会、地域づくり、NGO／NPO、人身売買」に小分類。それぞれ法律、調査、団体等にリンクしています。「ことば・情報・メディア」の下位には、「日本女性に関する英語発信サイト」があります。</p>
	4月、12月	<p><b>韓国両性平等教育振興院と交流・協力協定を締結。記念シンポジウムを開催</b></p> <p>平成18年4月26日（水）に韓国両性平等教育振興院（キム・ジェイン院長）と交流・協力に関する協定を締結しました。協定締結式は、韓国ソウル市にある両性平等教育振興院において、ソン・ヒョンジョ両性平等教育振興院教授の司会により進められました。初めにキム院長より両性平等教育振興院の使命と協定への期待について挨拶があり、神田理事長からは協定締結を契機として、両機関のこれまでの活動を踏まえた相互の交流・協力による両機関の一層の発展を祈念する旨の挨拶がありました。続いて来賓のチャン・ボンヒュ韓国両性平等・家族省女性政策本部長から祝辞が述べられた後、神田理事長及びキム院長により、協定書への署名が行われました。会館が外国の機関と協定を結ぶのは初めてです。また、この協定の締結を記念して12月2日（土）にキム院長を会館にお迎えして、男女共同参画のリーダー像をテーマとしたシンポジウムを開催しました。</p>
	7月	<p><b>めざせ！食育マイスター（毎日小学生新聞70周年記念） 開催</b></p> <p>平成18年7月29日（土）～30日（日）の1泊2日の日程で、「めざせ！食育マイスター」を毎日新聞社、毎日小学生新聞との共催で開催し、全国各地から、小学生と保護者総勢128名が参加しました。</p> <p>子どもたちは、お話・ゲームやクイズ、「究極の一品」づくりのための作戦会議、調理、早寝・早起き、体操や周辺散策・虫取りにも挑戦し、知恵とからだをフルに使って思い切り楽しい時間を過ごしました。一方保護者は、栄養学や調理学をもとにしたワークショップで、普段の食生活を振り返り、豊かな食卓のあり方について考えました。親子一緒では、「醤油」「狭山茶」「藁苞なっとう」「チーズ・バター」の製造工程の体験、中でも、子どもたちが一生懸命考えて調理した「究極の一品」の親子立食パーティーは大変盛り上がり、様々な「食」の体験、早寝・早起き、自然も満喫し、最後のプログラムでは、子どもたち全員に「子ども食育マイスター」の称号と記念メダルが贈られました。</p>
	8月	<p><b>家庭教育に関する国際比較調査報告を発表</b></p> <p>平成18年8月1日（火）、「平成16年度・17年度家庭教育に関する国際比較調査」に係る結果を発表しました。</p> <p>これは、現代日本の家庭教育の特色や課題を明らかにするため、日本および諸外国の家庭・家族の変化、家庭教育の実態、親の意識等に関する調査をおこなった結果を、平成5年度・6年度に行われた財団法人日本女性学習財団の調査との比較と併せて公表したものです。この調査により、日本の父親は、1日平均3.1時間しか子どもと一緒に過ごしていない一方で約4割は「子どもと接する時間が短い」と悩んでいること、もっとも充実してほしい子育て環境としては、日本、韓国、アメリカでは前回調査と変わらず「友だちと遊ぶ場所」であり、タイ、スウェーデンではそれぞれ「経済的援助」、「職場環境」であること、さらに、前回調査時に比べて日本での子育て支援のニーズの高まりなどが明らかになりました。また、調査結果はテレビ、ラジオのニュースや新聞、雑誌の記事として取り上げられ、その件数は100を越えるものとなりました。</p>



時期	項 目
 	<p><b>8月 女子高校生夏の学校 開校</b></p> <p>平成18年8月17日(木)～8月19日(土)の2泊3日で、文部科学省委嘱事業「女子高校生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」を開校しました。この事業は、女子高校生に科学・技術分野への魅力を伝え、理工系分野への進路を考える機会の提供を目的に実施したもので、111名の参加がありました。</p> <p>今年度は実験・実習を充実させ、「生命の不思議を科学する」では、自分の口腔粘膜からゲノムDNAを抽出したりしました。ポスターセッションやキャリア相談、女子大学生企画クイズ大会等も含めた参加体験型プログラムは大変好評でした。講演では、理工系に進学した女子大学生、大学の研究者、理工系分野へ就職した現場で活躍している方々9名に、科学・技術の世界の楽しさや夢をかなえてきたプロセスを熱く語っていただきました。</p> <p>女子高校生にとっては、生きた科学技術の世界に触れ、新しい出会いと発見の3日間となりました。</p>
 	<p><b>8月 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム 開催</b></p> <p>平成18年8月25日(金)～27日(日)の2泊3日、新規事業として「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」を実施しました。</p> <p>第1日は、「未来へのメッセージー新たな男女共同参画への取組ー」と題するパネルトークを行いました。第2、3日は、新しい取り組みとして、第2次男女共同参画基本計画を受けた「新たな取組を必要とする分野」や男女共同参画を推進する上での解決が急がれる課題から設定した6つのテーマに関して、72のワークショップが展開されました。</p> <p>「嵐山の燃える夏」を合言葉に全国から毎年ご参加いただいている方々をはじめ、初めての方にも多数ご参加いただき、総数1,193名の参加があり、主題である「女性のエンパワーメントと男女共同参画社会づくり～新たな取組を必要とする分野への参画をめざして～」のもと、研究、教育、学習、実践を結び、女性のエンパワーメントをめざす交流の場となりました。</p>
 	<p><b>9月、3月 女子学生のキャリア研究・就活支援者セミナー 開催</b></p> <p>このセミナーは、大学・短大においてキャリア教育・就職支援に携わる教職員のみを対象としたもので、平成18年3月に初めての試みとして実施したところ好評だったことから、今年度は9月と3月に2回実施しました。プログラムの中でも参加者の方々の関心が特に高い取り組み事例の提供は、全学的な支援体制やモチベーションの向上等のテーマに関して、先進的で魅力的な取り組みの報告を行いました。また、グループディスカッションを行って現状・課題を整理し、現場に即した解決の糸口を協働で探りました。各回とも充実した内容となり、参加者からは、今後の職場での取り組みについて、「生涯を通じた女性のライフプランを考えるようなプログラム企画を検討したい」「支援する自分たちの生き方・職業観を深めるよう心がけたい」等の声がありました。</p>
 	<p><b>9月 韓国女性開発院と研究交流・協力協定を締結</b></p> <p>平成18年9月28日(木)に韓国女性開発院(ソー・ミョンソン院長)と研究交流及び協力に関する協定を締結しました。</p> <p>協定締結式は秋晴れのさわやかな日に、ソー院長並びにジョン・ヘソン研究員を会館に迎えて、研修棟会議室にて執り行われました。初めに神田理事長よりこれまでの両機関の交流を踏まえて、協定の締結を契機とした交流のさらなる展開を期待する旨の挨拶があり、続いて、ソー院長より共通の文化、共通の課題を持つ両国の研究者の協力により国際社会の発展に貢献したいとの挨拶がありました。その後、お二人により協定書に署名が行われました。協定締結後には、今後の研究協力分野について話し合いがもたれました。会館が外国の機関と協定を結ぶのは、4月の韓国両性平等教育振興院との協定に続いて2件目となりました。</p>

## 平成19年

	時期	項目
 	2月	<p><b>アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー 開催</b></p> <p>平成19年2月1日（木）～10日（土）の日程で、新規事業として「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」を開催しました。</p> <p>インド、インドネシア、フィリピン、カンボジア、タイ、バングラデシュ、韓国、日本の8か国から、19名の行政、NGO、研究教育機関、女性センターなどで、女性のエンパワーメントの視点で男女共同参画に向けて活動している女性リーダーが参加しました。</p> <p>日本の関係省庁や企業による男女共同参画に向けた取組や女性のエンパワーメント拠点である女性センターの役割について学ぶとともに、地域の女性センター等を見学し、全国及び地域レベルの女性団体の活動を担うリーダーとの意見交換を行ったほか、男女共同参画を進めていくためのアクションプランを作成するための議論を重ねました。</p> <p>最終日は、参加者の企画によるミニ・シンポジウムを行い、人身取引や教育、政策決定レベルにおけるジェンダー主流化について、活発な議論が行われ、今後、お互いに協力しながら取組を進めていくことが約束されました。</p>
	2月	<p><b>女性のエンパワーメント国際フォーラム（読売・NWE C 女性アカデミア21）開催</b></p> <p>8月に発表した「家庭教育に関する国際比較調査」をもとに、平成19年2月24日（土）、読売新聞社との共催で国際フォーラムを開催しました。</p> <p>「産む・産まない 各国男女事情一次世代育成に関する国際調査から」のテーマのもと、猪口孝中央大学教授の自らの子育て体験に係る基調講演を受けて、「家庭教育に関する国際比較調査」の概要が説明されました。その後、日本、韓国、フランス、アメリカの研究者が、それぞれの国における父親の家事・育児参加やワーク・ライフバランスの現状、家族政策などについて報告しました。これらの報告に基づくディスカッションでは、韓国における女性の社会進出と家事・育児負担の現状やフランスの出生率の上の背景、また、アメリカにおける理想の父親像の変遷などについて活発な議論が行われ、最後は、猪口教授と船橋恵子静岡大学教授からパネルディスカッションへのコメントで締められ、盛会のうちに本フォーラムは終了しました。</p>
 	3月	<p><b>NWE Cプログラム「食と健康」開催</b></p> <p>平成19年3月9日（金）から10日（土）にかけて（1泊2日）、女子栄養大学との共催でNWE Cプログラム「食と健康」を実施しました。</p> <p>食や健康への関心が高まり、様々な情報が流れている現在、科学的な裏付けのある正しい知識が必要とされているため、連携協定先の女子栄養大学から全面的な協力を得て実施しました。参加者は、男性8名を含む48名でした。</p> <p>講義は、中高年男性の半数、女性の2割を占めるメタボリックシンドロームの定義と予防・治療についての香川靖雄女子栄養大学教授・副学長による「メタボリックシンドロームの基礎知識」をはじめ、「これからの食生活：病を防ぎ、健康を維持するためのメニューとは」、「食材の賢い選び方」、「高齢化社会の快適キッチンとは」、「実践報告：男性の料理教室—その内容と特徴」といった食・栄養・健康に関する幅広い内容が提供されました。具体的な事例を数多く交えた講義は、日頃、食や健康に馴染みのない男性や高齢者にもわかりやすく、参加者の満足度の高いものとなりました。</p>
	3月	<p><b>「女性アーカイブセンター機能に関する調査研究報告」の刊行</b></p> <p>女性関係の史・資料を整理・保存・提供する女性アーカイブセンター（仮称）を会館内に設立することを目的として、平成17、18年度の2年間にわたって実施した調査研究の成果が報告書になりました。</p> <p>本調査研究では、女性関係資料に関する初めての全国規模の所蔵調査を実施し、女性関係資料が全国の機関・団体に散在し、その全容が把握されていない、という現状を明らかにしました。また、女性関係資料を対象とした収集・整理・提供方法について具体的なノウハウを提示し、各地域における女性アーカイブ構築の指針・ガイドとしても活用いただける構成となっています。</p>





# 施設

東京・池袋（東武東上線）より所要時間60分、武蔵嵐山駅むさしらんざんより徒歩15分、清流の都幾川ときがわに沿う緑豊かな丘陵地で、秩父連山を遠くに望む景勝の地です。

施設は14ヘクタールの敷地に自然との調和を配慮し、「陽ひに向かい陽ひに帰るかえ」の考えで、東側に研修棟、西側に宿泊棟、中央に池を配置しています。

## 建築概要

所在地……………埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地  
設計……………日建設計  
監理……………建設省関東地方建設局 営繕部 日建設計  
敷地面積……………138,556㎡  
建築総面積……………13,144㎡  
延床総面積……………28,262㎡



## 棟別階数・構造及び面積等

名 称	構造・階級	延床面積
本館（内女性教育情報センター）	鉄筋コンクリート造3階・地下1階建	8,509㎡ (1,085㎡)
宿泊棟	A棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造8階・地下1階建 B棟 鉄筋コンクリート造4階建 C棟 鉄筋コンクリート造3階建	8,660㎡
研修棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造3階建	7,470㎡
体育館	鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建	1,206㎡
プール棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建	1,127㎡
響（ひびき）書院	木造平屋建	198㎡
和（なごみ）庵（茶室）	木造平屋建	18㎡
クラブハウス（運動器具庫）	鉄筋コンクリート造平屋建	118㎡
車庫等		956㎡

## 施設

### ■ 本館・宿泊棟

名 称		内 容	施設使用料 (円)
女性教育情報センター	閲覧席32 (席)	図書資料・雑誌類・新聞類 (開架式)	無 料
	閲覧個室2 (室)		無 料
展示ホール			
医務室			
ボランティアルーム			
音楽室	50 (人)	ピアノ・ステレオ等	500円～700円
美術・工芸室	30 (人)	七宝焼窯・陶芸用窯・ろくろ等	400円～600円
調理室	32 (人)	調理台9台	500円～800円
試食室	32 (人)		300円～500円
幼児室		幼児20名まで収容可能	無 料
食堂	300 (席)	カフェテリア方式	
売店		学習用具・日用品等	
駐車場		バス20台 乗用車170台 この他、草原運動場そばにも駐車スペースがあります。	
ミーティングルーム	1 (室)	50人用	300円～500円
談話室	7 (室)	各20人用	無 料
浴 室	3 (室)	大・小・車椅子使用者用各1室	

### ■ 宿泊研修施設

種 別	内 容	A棟 (バス・トイレ付)	B棟 (トイレ付)	C棟 (トイレ付)	室数	宿泊者数	施設使用料 (円)
和 室	4人用 26室		14室	12室	28室	104人	2,000円～2,600円 (1人当たり)
	2人用 2室	2室				4人	2,200円～2,800円 (1人当たり)
洋 室	2人用 98室	58室	28室	12室	137室	196人	2,000円～2,800円 (1人当たり)
	1人用 39室	39室				39人	2,400円～3,000円 (1人当たり)
宿泊者合計		99室 159人	42室 112人	24室 72人	165室	343人	





## ■ 研修棟

種 別	内 容	室 数	内 容	施設使用料(円)
講 堂	602人	1	車椅子用移動座席・エレベーター、同時通訳装置	4,700円～7,500円
会議室	大会議室 122(人)	1	外に傍聴席38、同時通訳装置	1,600円～2,600円
	中会議室 40(人)	1		500円～900円
	小会議室 12(人)	1		300円～600円
研修室	150人室	1		1,100円～1,800円
	99人室	1		800円～1,200円
	48人室	4		400円～700円
	36人室	1		400円～600円
	24人室	2		300円～400円
	20人室	6		300円～400円
	マルチメディア研修室	1		800円～1,100円
控 室	団体控室	4	研修室としても使用できます	200円
	講師控室	4	//	100円



## ■ 体育施設・日本家屋等

種 別	内 容	施設使用料（円）
体育館	バスケットボール、バドミントン、バレーボール、フットサル、その他	3,500円～5,800円
屋内プール	25m 6コース	300円 （1人1日当たり）
テニスコート	5面（全天候型・砂入人工芝）	900円～1,200円 （1面当たり）
クラブハウス（運動器具庫）	シャワー、トイレ、放送設備等	
草原運動場	約12,000㎡	無料
響（ひびき）書院	茶室15畳、4.5畳、座敷10畳	1,200円～1,700円
和（なごみ）庵	茶室	



# 利用案内

## ■ 利用できる方

女性・男性を問わず、ご利用になれます。

・18才未満の方には、保護者・教員等の引率（同伴）が必要です。

※保護者、引率者がいない場合にはご相談ください。

・未就学の方の同伴利用については、次の場合とさせていただきます。

①利用プログラム上必要な場合、②幼児室にて団体内の方、または専門の業者等による保育を行う場合

・営利目的及び特定の政党、宗教の勧誘・啓発・普及を目的とした利用はできませんのでご了承ください。

## ■ 利用者の区分

### 《目的利用者》

以下の①～③のいずれかに該当する方は「目的利用者」となります。

- ① 女性・家庭・家族、又は男女共同参画に関する教育、学習、調査研究、情報収集及び交流等を目的とした利用を行う方
- ② 国立女性教育会館を利用する学習、研修の一部に女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムがある利用を行う方
- ③ 国の機関及び地方自治体の女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムによる利用を行う方  
例：女性団体・グループの総会、女性のキャリア形成についての学習会、男女共同参画に関するゼミ合宿、PTAの研修会、子育て・食育・親子の体験活動などに関する学習、女性教育情報センターにおける資料閲覧・収集等

### 《一般利用者》

上記に該当する方以外は一般利用者となります。

## ■ 申込受付期間

区 分		受 付 期 間
目的利用者	宿泊利用	利用の12か月前の月の1日から 利用の10日前まで
	日帰り利用	利用の10か月前の月の1日から 利用の10日前まで
一般利用者	宿泊利用	利用の10ヶ月前の月の1日から 利用の10日前まで
	日帰り利用	利用の10日前まで

### お問い合わせ（電話・文書または来館）

国立女性教育会館（ヌエック）事業課  
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地  
TEL：0493-62-6723（申込み専用）  
FAX：0493-62-6720  
E-mail：yoyaku@nwec.jp

利用申込書の提出

受 付

入 館

女性教育情報センター（p.6）は、予約なしでどなたでも利用いただけます。



# 国立女性教育会館ボランティア

## ■ ボランティアの受け入れ

利用者及びボランティア自身の多様な生涯学習を促進するとともに、利用者への質の高いサービスの提供と他機関・団体等との連携協力のための活動として、ボランティアを受け入れています。

## ■ ボランティアと会館の連携

ボランティアを事業運営における大切なパートナーとして位置づけ、ボランティア活動の推進に向けさまざまな機会を提供しています。



- ①情報提供及び交流：連絡会議（年3回）を実施するとともに、会館内にボランティアルームを設置し、会館とボランティアまたボランティア相互の連絡・交流を図っています。
- ②研 修 活 動：ボランティアと会館が共に学ぶための研修事業として「ボランティア活動研究会」などを適宜実施しています。
- ③自 主 活 動：ボランティア相互の自主的なグループの活動・提案を受け入れ、会館はそれをバックアップしています。
- ④活動状況の広報：「ヌエックNEWS」のボランティアコーナーや館内掲示等を活用して、活動内容、活動状況の広報をしています。



# 運営委員会委員

平成19年6月1日現在

氏名	現職
青木 玲子	埼玉県男女共同参画推進センター 事業コーディネーター
天野 正子	東京女学館大学 学長
岩田 喜美枝	株式会社資生堂 取締役 執行役員常務
江上 節子	早稲田大学 公共経営研究科 客員教授
大日向 雅美	恵泉女学園大学 大学院教授
北村 節子	読売新聞調査研究本部 主任研究員
島村 和男	埼玉県教育委員会 教育長
鈴木 陽子	国際協力機構（JICA） 国際協力総合研究所 国際協力専門員
高山 正也	独立行政法人国立公文書館 理事
館 かおる	お茶の水女子大学 ジェンダー研究センター教授（前・お茶の水女子大学 ジェンダー研究センター長）
中畔 都舎子	全国地域婦人団体連絡協議会 会長
中村 紀伊	財団法人主婦会館 理事長 （前・全国女性会館協議会会長）
野上 武利	埼玉県経営者協会 専務理事
平松 昌子	国際婦人年連絡会 世話人
広岡 守穂	中央大学 教授
古野 陽一	子育てネットワーク研究会 世話人、子ねっと工房 代表
三輪 建二	お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科 教授

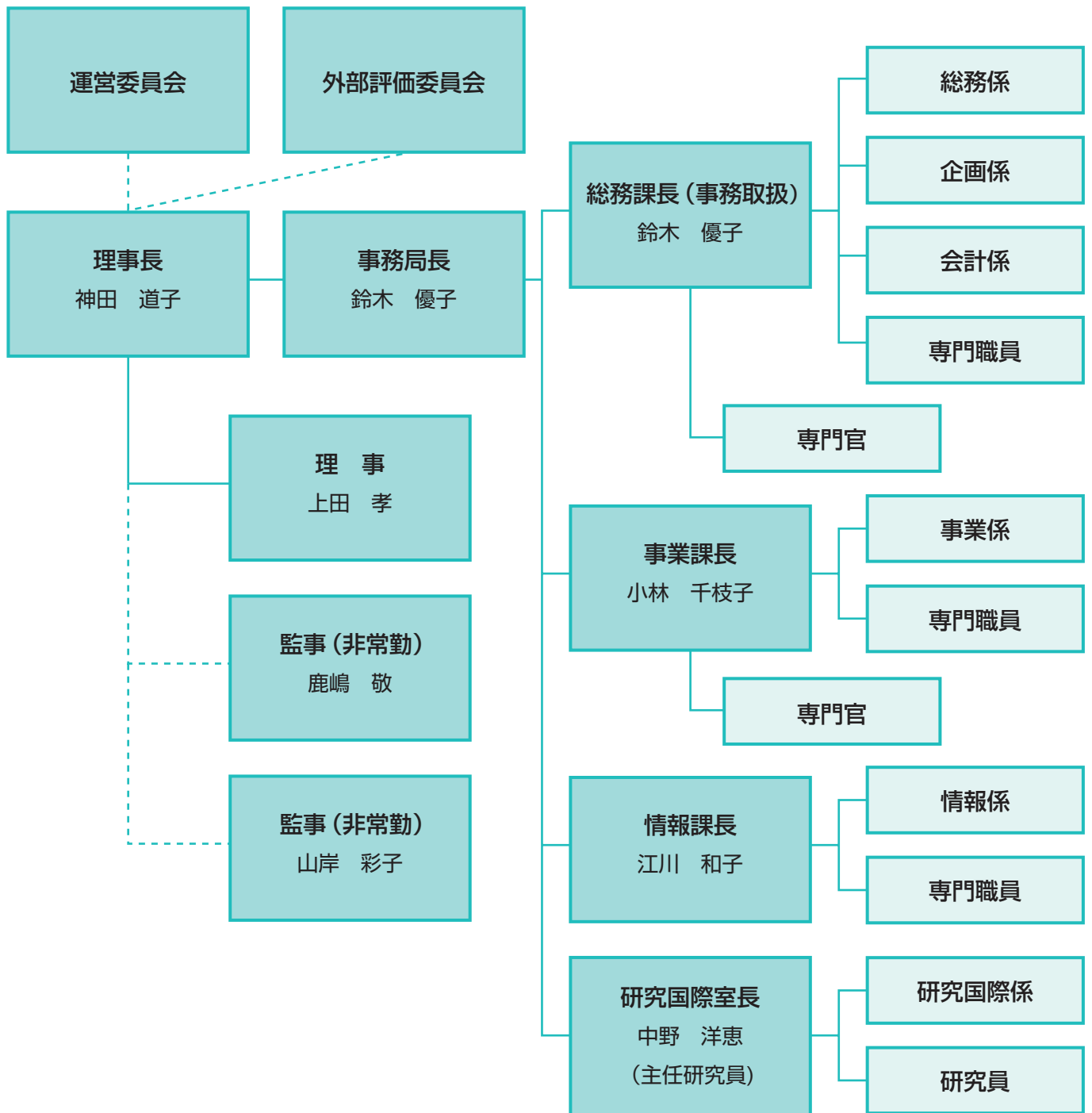


# 外部評価委員会委員

平成19年6月1日現在

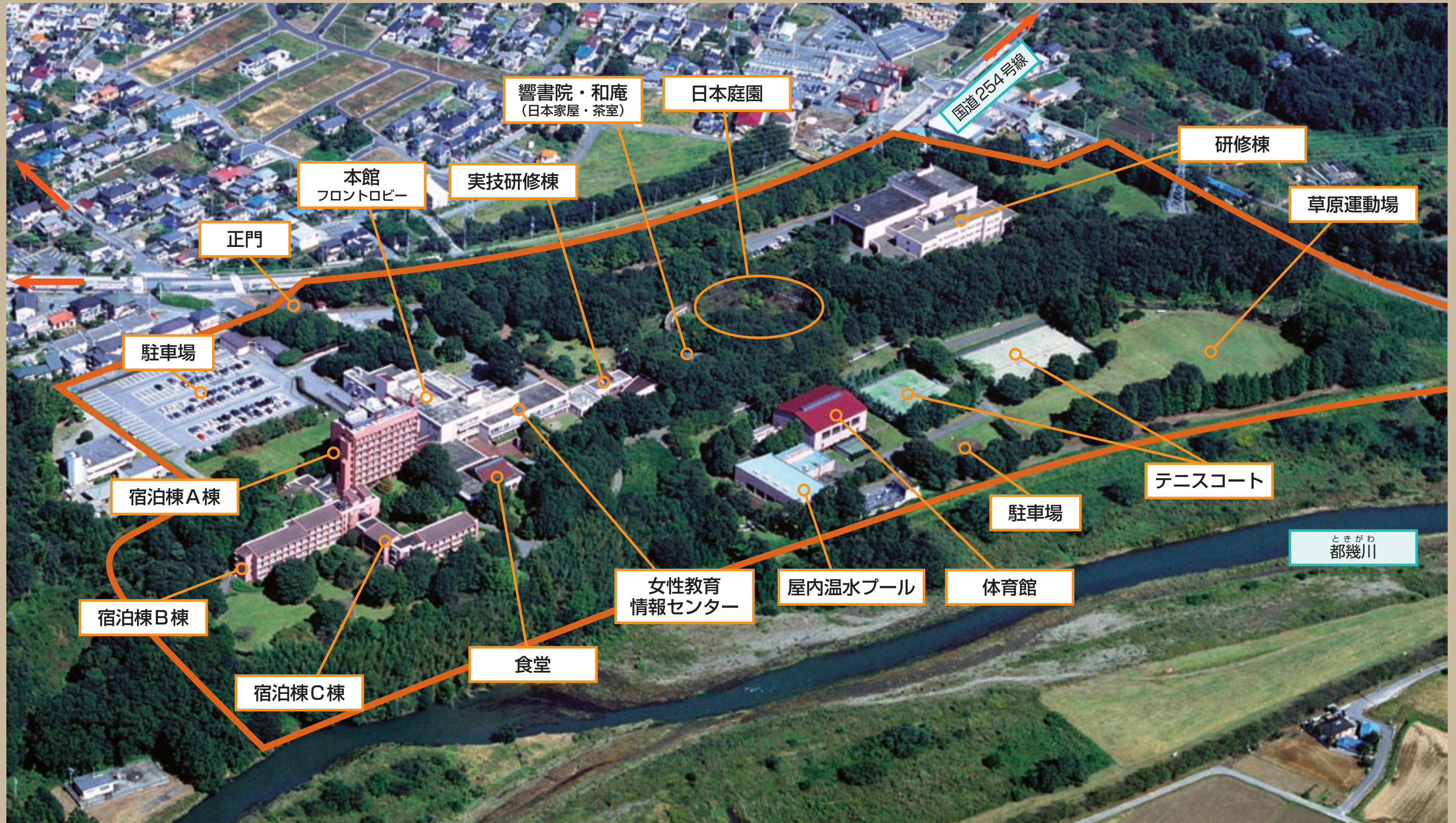
氏名	現職
有馬 真喜子	財団法人横浜市男女共同参画推進協会顧問
笹井 宏益	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官
澤野 由紀子	聖心女子大学文学部助教授
松下 俱子	独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長
三隅 佳子	財団法人アジア女性交流・研究フォーラム会長





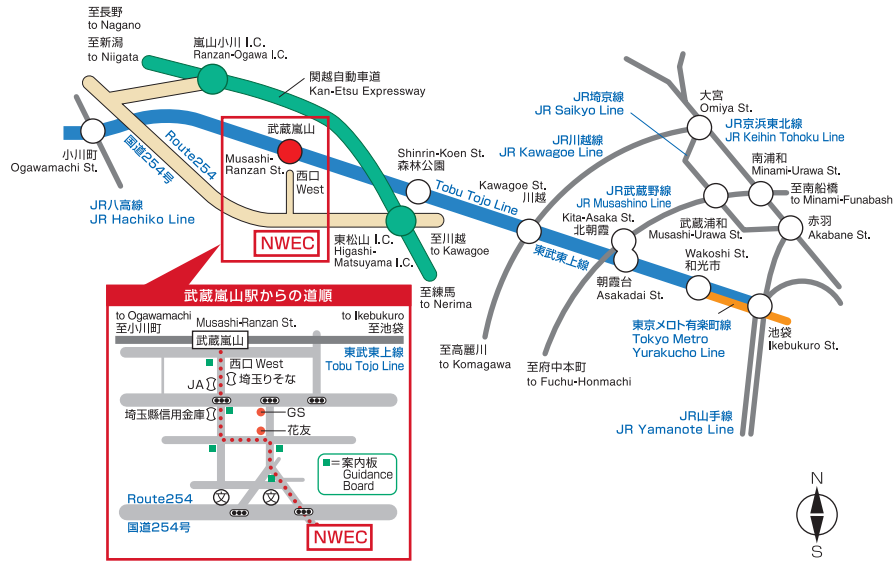


至 東松山 I.C.





## 交通案内 / Access



### 1. 電車では

東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩で15分  
武蔵嵐山駅へは

- ①池袋駅から東武東上線急行で60分
- ②小川町駅から東武東上線で7分

※地下鉄有楽町線の和光市駅から東武東上線に乗換えができます。

### ※タクシー利用

東武東上線森林公園駅、小川町駅から約15分、武蔵嵐山駅から約5分

### 2. 自動車では

練馬I.C.から関越自動車道で35分の東松山I.C.から国道254号で15分、新潟方面からは嵐山小川I.C.から国道254号で15分。

### ※リムジンバス利用

成田空港及び羽田空港から、リムジンバスを利用して森林公園まで来る方法があります。熊谷地区へ向かうリムジンバスを使用。

●休館日：原則として毎月第1・3月曜日  
及び12月28日から1月4日



独立行政法人 国立女性教育会館  
National Women's Education Center

〒355-0292  
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地  
TEL 0493-62-6711 (代表)  
総務課 FAX 0493-62-6722  
事業課 FAX 0493-62-6720  
情報課 FAX 0493-62-6721  
研究国際室 FAX 0493-62-9034

ホームページ <http://www.nwec.jp/>  
E-mail [webmaster@nwec.jp](mailto:webmaster@nwec.jp)